

	議長	副議長	局長	次長	議事調査係長	総務係長
	委員長	副委員長	書記			
会 議 記 録						
会議の名称	総務文教常任委員会				会議場所	第3委員会室
					担当職員	藤村
日時	平成25年3月12日(火)			開議	午前 11 時 00分	
				閉議	午後 3 時 49分	
出席委員	吉田 田中 並河 山本 中村 西村 石野 堤 木曾議長					
執行機関出席者	山内政策推進室長、竹村政策推進課長、柏尾政策推進課参事 竹井企画管理部長、俣野夢ビジョン推進課長、内田秘書広報課長、中川人事課長、片山人事課副課長 門生涯学習部長、柱市民協働課長、小林人権啓発課長、福田市民協働課市民活動推進係長 岸総務部長、西田総務課長、栗林自治防災課長、野田自治防災課主幹、木村財政課長、八木 税務課長、中川総務課副課長、酒井自治防災課主幹、田中自治防災課自治振興係長 辻田教育部長、中川教育部次長、福井教育総務課長、山本学校教育課長、樋口社会教育課 長、玉記人権教育課長、小西学校給食センター所長					
事務局	今西事務局長、藤村次長、阿久根係長					
傍聴	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否	市民 8名	報道関係者 0名	議員 2名(酒井、苗村)		

会 議 の 概 要

- 1 開議
- 2 事務局日程説明
- 3 請願審査(継続分)

(1) 受理番号 8 番 亀岡市放課後児童会の環境改善についての請願

< 吉田委員長 >

継続審査であるので本日討論、採決を行うが、その前に自由討議を行う。

自由討議

< 西村委員 >

現地視察をしたことで事情がよくわかった。視察をしてよかった。環境においては寺子屋式の詰め込み式も変化がありいいかとは思いますが、学校からの移動を伴うところは交通、引率面で具合の悪いところもある。学校には使用していない会議室等もあるので何とか改善できないかと思う。教育サイドと福祉サイドの縦割り行政がネックかと思う。できれば一本化して万全の管理体制を。放課後児童会に預けておられる保護者の声を聞くとやはり細かな部分で不便なこともあるようである。預けられてる側の立場に立って考えていくべき。私は採択でいいと思う。

<堤委員>

前委員長として現地視察も行ってきた。安詳、大井小については移動があるが、環境は整えられている。千代川小はぎゅうぎゅう詰めという感じを強く受けた。今後の児童数の推移もあるが、市として西村議員からもあったように福祉行政と教育行政の縦割り行政の中での困難もあるかもしれないが環境改善について真剣に考えてもらいたいと強く感じた。H25年度予算には充実の予算も計上されているが、委員会としての意思を示してもらえればありがたい。

<中村委員>

西つつじヶ丘小はゆったりしており、メディアスも広さは確保できていたと思う。安詳小は関心をもって視察したが、宿題等をするのはいい感じでできていたと思う。これからますます人口も増える。学校側も空教室の利用を考えていただけることが肝要である。千代川小はかなり狭い。かねてから地元自治会にも協議いただいており、行政も取り組んでもらっている。応援したい。

<石野委員>

特に安詳小は移動があり、児童数も増えている。全員が一斉に教室に入らなくてもグラウンドで遊ぶ、教室で勉強、と分けてうまく活用してやってほしい。採択していきたい。

<並河委員>

今回、4校を視察した。以前に共産党議員団で視察した時よりも児童の数は減っている。また、70人以上は分けるという国の方針もあり、改善はされてきている。移動時の安全面、4年生以上への拡大という話もあったが、子育て支援の意味からも請願を採択してそういうところに力を入れてほしいと思う。

<木曾議長>

実際に見て、聴いて感じて判断しなければ難しい問題があると感じた。請願を受けて安詳小は25年度内に改善措置されると聞いている。H27年度から国では対象を1年から6年までとするよう検討されているがますますスペースが大事になってくるので今回の請願を採択して次につなげていけばいいと思う。

<山本委員>

安詳小に限ると移動がある。やはり安全面も含めて子供たちが安心して過ごせる環境づくりが大事であると感じており、応援したい。

<吉田委員長>

自由討議を終結する。討論の内容であったので、討論は省略し採決に入る。

採決

<吉田委員長>

賛成者の挙手を願う。

挙手全員

採択

<吉田委員長>

採択された請願について、地方自治法第125条に基づき、執行部に送付すること、また、請願の処理の経過及び結果の報告を請求することについて諮る。そのように取り扱ってよいか。

- 全員了 -

それでは、そのように取り扱うこととする。

<木曾議長>

委員長が請願の紹介議員になっていることについて、今一度確認願う。

<事務局>

申し合わせにより、ならないようにするとしているが法的には差し支えないと思われる。今一度確認する。

<吉田委員長>

後程、報告を。

4 陳情要望について

<吉田委員長>

「給食の安全安心を求める陳情について」、陳情者から陳情の内容について説明したい申し出があるが、説明を受けることとしてよいか。

- 全員了 -

それでは、陳情者からの説明を許可する。ここで、委員会は休憩とし、これより総務文教常任委員会協議会に切り替える。

~ 11:15

(休 憩)

11:45 ~

<吉田委員長>

休憩前に引き続き、委員会を開く。陳情は大体参考にさせていただくことになっている。特に私立保育園については当委員会の所管ではないのでこういう陳情があったことを環境厚生常任委員会に議事録を添付し送りたいと思う。

これは私の思いだが、4月の月例会に教育委員会を呼び、学校の整備計画と学校給食のことを聞くことになっているので、本日お聞きしたことも踏まえてどのような検査が実施されているか詳しく聞いていきたいと思う。本日の陳情を参考にしたいと思うがよいか。

- 了 -

それでは、4月の月例会の日程が決まり、興味があれば傍聴願う。それでは、暫時休憩する。

~ 11:46

5 議案審査

13:00 ~

政策推進室

(1) 第60号議案 平成24年度亀岡市一般会計補正予算(第7号)所管分

政策推進室長 挨拶

政策推進課長 説明

< 質疑 >

< 並河委員 >

P 3 1、ふるさとバスについて、乗車実績は。

< 政策推進課長 >

H 2 4 は全体で 1 3 2 , 0 5 9 人、H 2 3 は 1 3 5 , 8 0 6 人で 3 , 0 0 0 人ほど減っている。ただ、川東のスクール線を除くとほぼ同人数である。今年度は減っているが H 2 2 よりは増えている。昨年度の乗車が多かった。

< 田中副委員長 >

P 3 1、ふるさとバスについて、1 , 4 0 0 万円余り減額されているが、人数は当初見込みとあまり変わらないのではなかったかと思う。減額ということは当初見込みの金額が多かったのか、他に収入があったのか。

< 政策推進課長 >

計上経費から計上収益を差し引いて精算をしている。例年規模の収益だが、損益等が出て不足する心配もあり例年これだけの経常経費を見込んでいる状況である。いずれこの差を縮めていかなければと思っているが例年これぐらいの減額をしているのが現実である。

< 石野委員 >

P 1 7、歳入で市有地敷地料増は馬堀の土地を民間に貸し付けということだが、貸付先、面積、期間は。

< 政策推進課長 >

土地の面積は 4 5 9、9 7 m²と 7 2 5、3 7 m²の 2 筆で約 1 , 0 8 5 m²。貸付先は亀岡ハウジング。期間は 1 1 月からの 6 カ月間。貸付面積は持ち合わせないので後程答える。

< 堤委員 >

P 6 1、J R 千代川駅東側広場等整備事業費の減額補正だが、今年度の具体的な事業内容は。

< 政策推進課長 >

千代川駅周辺のバリアフリー基本構想の策定を行った。それにより今後半径 5 0 0 m の中で段差であったりやさしい道路の整備形態等の構想を立てている。駅舎、東側広場も含まれている。策定委員会を 2 回開催し 3 月末にも開催する。タウンウォッチということでまち歩きをしていただき、御意見をいただいている。

< 堤委員 >

大きな事業であり、関心をもってこれまで地元自治会長、沿線議員もお願いをしてきた。駅舎も含めてということは跨線橋も含めてということでもいいのか。

< 政策推進課長 >

駅舎には跨線橋、トイレ等すべて含まれているが整備の内容までは入っていないので今後になる。

< 田中副委員長 >

P 1 7、馬堀の市有地の貸付単価の積算はどのようにしているか。

< 政策推進課参事 >

固定資産税評価額から一定標準数値をかけて割り出している。法面が多い土地なので有効面積は先ほど答えた数字ではない。行政財産であるので使用許可という形で貸し付けている。相手先は先ほど亀岡ハウジングと答えたが、(株)リビングサービス

である。

< 田中副委員長 >

そういう土地の条件であれば係数は1以下か。

< 政策推進課参事 >

そうである。

(政策推進室 退室)

~ 13 : 18

13 : 20 ~

企画管理部

(1) 第60号議案 平成24年度亀岡市一般会計補正予算(第7号)所管分

企画管理部長 挨拶

各課長 説明

< 質疑 >

< 石野委員 >

P23、職員人件費の退職手当の人数は。

< 人事課長 >

定年退職15名、勸奨退職2名、普通退職は現在2名だが予備3名の5名分を計上。

(企画管理部退室)

~ 13 : 35

13 : 37 ~

生涯学習部

(1) 第60号議案 平成24年度亀岡市一般会計補正予算(第7号)所管分

生涯学習部長 挨拶

各課長 説明

< 質疑 >

< 並河委員 >

P13、寄附金はどの方面の方からか。

< 市民協働課長 >

生涯学習振興寄附金は市内の方から。ふるさと力向上寄附金は申し訳ないが掌握していない。

(生涯学習部退室)

~ 13 : 44

13 : 45 ~

総務部

(1) 第60号議案 平成24年度亀岡市一般会計補正予算(第7号)所管分

総務部長挨拶
各課長 説明

< 質疑 >

< 並河委員 >

議案の P 8、大井分団の消防倉庫の位置は。

< 自治防災課長 >

- 現在地と移転地、最終的に戻る場所を地図で説明 -

< 西村委員 >

当該倉庫はまだ新しい。国庫補助金等を受けていると思うが大丈夫か。

< 自治防災課長 >

その点は精査した。大丈夫である。

< 西村委員 >

まだ新しいのにもったいない。クレーンで吊っての移設は出来ないのか。

< 自治防災課長 >

動かせるものは動かすが、動かさないものについての分である。

< 木曾議長 >

P 25、地域イントラネット管理経費、ケイ・オプティコム の賃借料の減額について、以前から整理するよう指摘しているがその辺の見通しはどうか。

< 総務課長 >

整備から 11 年が経過し、借りていた起債の償還も終了、いわゆるひも付きの状態ではなくフリーな状態で市が管理している。自営で整備した分以外をケイ・オプティコムから借りている。イントラネットを利用し、Jアラート、雨量計の信号のやりとり、行政事務全般、各小中学校に配備されている教育系の端末約 2,000 台等を運用している。今直ちにイントラネットを整理することは考えていない。償還を終え、今が一番いい時期でもあり、使える間は使っていくのが経費的にも安上がりであると考える。

< 木曾議長 >

元々、地域イントラネットはインターネットが普及する前に整備されたものという認識。亀岡市内は全てインターネットの整備がされてきた。それなのにイントラに固執する必要があるのか。それの方が安くつくと言われればそうかもしれないが自前、借りている分の維持管理費が多くかかる。決算時にもいつも話が出ているのになぜ、イントラで Jアラート等をするのか。厳しい財政状況であると言いながら固執するのはなぜか。財政課の観点から答えられたい。

< 財政課長 >

今すぐに撤去するとなるとその経費との比較もいる。撤去費も何千万円という経費が必要。総務課長の言うようにいずれは撤去と考えているが、基本的にはもう少しこのまま継続させ時期を見てブロードバンドに乗り換えていきたい。セキュリティの問題がまだ残っているので課題解決後に財政協議をしたいと思っている。

< 中村委員 >

P 81、借り換えについて、10 年の見直しは約定に謳ってある長短金利の変動の目安によって決めるのか、10 年後に高騰の見直しという中で現実的にどう借り換えたのか。

< 財政課長 >

約定の中に記載のある金融機関とない金融機関がある。市内6金融機関のうち労金を除いてすべてその条件で起債を借りている。10年前は10年以上の借入は金融機関にしぶられており、10年間でないと貸し出しできなかった。ただ、10年経過したらその経済状況の中で金利を見直すという条件が付いていた。今回、1.1%で借りていたが高すぎて、あと残り5年だけ違うレートでというのもしにくかったので、0.72%で借り換えることになった。できれば同じ金融機関で良かったが違うところに乗り換えたというのが実情である。

- (2)第66号議案 平成24年度亀岡市曾我部山林事業特別会計補正予算(第1号)
(3)第70号議案~第78号議案 平成24年度亀岡市亀岡財産区特別会計補正予算他8財産区特別会計補正予算

自治防災課長 説明

<質疑> なし

<西村委員>

全体を通じての質疑をさせていただく。ポンプ格納庫は山田さんのところの前に設置してあるものか。

<自治防災課長>

そうである。

<西村委員>

国や市が経費を負担したもので3~4年しか経過していない。区画整理事業の中で支障があったのか。

<自治防災課長>

区画整理事業は道路法線も入っており、道路法線に係るので移転する必要ができた。

<西村委員>

計画の中で出てきた話か。

<自治防災課長>

土地区画整理事業組合で検討されたもの。

<西村委員>

市もやむを得ないと判断したのか。

<自治防災課長>

検討の結果やむを得ないとした。補償金をいただき、事業終了後は原状復帰させていただく。

(総務部退室)

~ 14 : 37

(休憩)

14 : 47 ~

教育部

(1)第60号議案 平成24年度亀岡市一般会計補正予算(第7号)所管分

教育部長 挨拶
各課長 説明

< 質疑 >
< 堤委員 >

川東小、高田中の一貫校、新幼稚園の太陽光発電でどれくらい賄えるのか。

< 教育総務課長 >

一貫校は30kw、幼稚園は5kwのものを設けるが、教育的観点あるいは市民への啓発的観点から設けるもの。

(教育部 退室)

~ 15 : 30

5 討論 ~ 採決

討論

< 吉田委員長 >

一括して討論はないか。

- なし -

採決

< 吉田委員長 >

賛成者の挙手を求める。

第60号議案

挙手 全員

可決

第66号議案

挙手 全員

可決

第70号議案 ~ 第78号議案

挙手全員

可決

指摘要望

< 田中副委員長 >

委員長報告の末尾にでも付け加えられたい。亀小耐震工事、高田中改築工事、幼稚園改築工事と教育委員会分だけでもかなりの建設工事があるので市内業者を使って亀岡の経済に効果を及ぼすような下請も含めて指名をされるようにされたい。道路関係も含めてかなりの発注がある。

< 堤委員 >

亀岡の業者育成の面である意味それはいいことだが、やはり高額予算で将来にわたるものを建設する以上はある程度の技術、実績が伴わないと難しい。大手がすべて受注するのは避けるべきと思うが一定の技術力、実績は必要である。ただ、市内業者育成だけで市内業者に発注をとということにはならないのではないかとも思う。きちっとしたものを建設してもらわなければ後でガタが来るようではいけない。

< 木曾議長 >

これだけ工事があれば市内業者では手が足りないのでは。

< 吉田委員長 >

それではまとめると、「発注については業者の技術、実績を勘案し、安全、確実な工事が達成されるよう留意されるとともに地域経済の活性化にも着眼されるよう望むものであります。」とするがどうか。

- 了 -

それでは、委員長報告の作成は正副委員長に一任願、明日の常任委員会で確認願う。

6 その他

議会だよりの原稿について

<吉田委員長>

総務文教常任委員会審査欄への掲載内容について意見を出されたい。3項目程度で。

<中村委員>

補正の工事関係を。

<田中副委員長>

請願を採択したことを。

<吉田委員長>

採決はまだだが、若木の家はどうか。それでは、補正と請願審査、場合によって若木の家を3点とする。

- 全員了 -

視察先、時期について

<吉田委員長>

視察先と時期についての意見はどうか。

<堤委員>

新潟市の「外部評価会議が事業仕分け実施」とはどのような内容か。

<事務局>

本議会でも事務事業評価をされているが、市民が入って事業仕分けをしている自治体がある。新潟市の外部評価会議の構成員はやぶさかでないが同会議を設置し事業仕分けを実施されている。

<吉田委員長>

新潟市、小浜市の給食等を視野に入れ、正副委員長で提案させていただく。

次回月例会の日時について

<吉田委員長>

4月15日(月)でどうか。

<事務局>

15日は議運の事前勉強会が予定されているが時間は調整できる。

<吉田委員長>

15日の午前又は午後で調整する。内容は教育委員会を呼び、小中学校の適正化と本日の陳情にあった学校給食についても聞くこととする。放課後児童会はどうか。

<堤委員>

放課後児童会はもういいのでは。

<吉田委員長>

放課後児童会は後日とする。

<事務局>

明日の常任委員会終了後、議運、本会議の予定であり、本会議終了後に大型スポーツ施設関係の内容で全員協議会が開かれるので予定願う。

放課後児童会に係る請願の紹介議員に吉田委員長がなられている件について、先例申し合わせでは正副議長、正副委員長は紹介議員にならないことを例とするとなっているが、受理された後に紹介議員をおりる、請願を取り下げるまでは言及されていない。法的には問題がないのでこのまま取り扱っていただくことになる。

<吉田委員長>

今回は請願受理後、委員長となったのでこのままでお願いする。

<田中副委員長>

視察の希望項目は明日にでも出されたい。

<吉田委員長>

明日は10時から委員会を開く。それでは、本日はこれで閉議する。

15:49 閉議